

養護老人ホーム 上寺山楽々園の現状

4月1日現在で、上寺山楽々園の入園者は43人で、うち要介護認定者は34名、平均年齢は78・3歳となっており、高齢化とともに、介護サービスなどの必要な人が増えています。

2月の職員による入園者への虐待事件以後、外部有識者や関係職員で構成する「改善委員会」を設置しました。

改善委員会では、当面の対応策や本来の養護老人ホームとしての諸問題を議論し、在園者の心身状態に応じた規律ある明るい環境の下での生活や介護の必要な人への対応など、できることから実行しています。

職員は、在園者とのコミュニケーションを大切にし、信頼回復に努めるとともに、園として支援体制の強化を図るため、新たに園長補佐を配置しました。

支援員についても、研修を実施するなど資質向上に努めています。現在、入園者に要介護者が多く、現



改善が進む上寺山楽々園

在の常勤看護師が1名であることから、臨時看護師の増員も検討しています。

施設については、老朽化による雨漏りなど、早急な修繕が必要となつていきます。

最近では、外部の人から「園が以前より明るい雰囲気になった」などの声が寄せられています。

開かれた園を目指すため、本年度から入園者の親族および関係者、市民の皆さんへ園の様子を伝える「楽々園だより」を発行するとともに、行事紹介や地域の皆さんとの交流の輪を広げるなど積極的な情報発信を行うこととしています。

今後も引き続き、入園者の皆さんが安心して暮らせる施設となるよう取り組んでいきます。

ごみ30%減量作戦

ごみ30%減量を目指す取り組みとして、広報紙に毎月「ごみダイエット通信」を折り込むとともに、本庁舎に「ごみダイエット瀬戸内」の懸垂幕を掲げたり、公用車にステッカーを貼るなどして、ごみ減量30%への周知を図っています。

また、市のごみ収集委託業者のパッカー車にもステッカーを貼ってもらい、ごみ30%減量の周知について、市民への協力を呼びかけています。

市の職員で組織された「チーム・もつてえねんジャー」では、4月に会議を開き、循環型社会構築に向け、市民の模範となるべく全職員一丸となって取り組むことを確認しました。

同チームは、本年2月から活動を開始していますが、市の公共施設でのシュレッダーごみ、ざつ紙を焼却せず資源化することや生ご

みの減量などに取り組んだ結果、4月末で、計約10トンの減量を実現しました。

この他にも、5月に導入したチップマシンのにより、公共施設などから出る剪定くずなどを燃やさずに処理し、堆肥への活用を図っています。

今後も、地域全体で、また各家庭で市民一人一人のご協力をよろしく願います。

戸別所得補償制度に関するモデル対策

4月から始まった戸別所得補償モデル対策は、農政の大転換の歴史的な第一歩といわれています。

水田における麦、大豆、米粉用や飼料用の米などの作付けの拡大を目指した「水田利活用自給力向上事業」と、コスト割れしている稲作農業の経営改善や米の需給調整の確保を目指した「米戸別所得補償モデル事業」の2つの事業を実施することにより、農業経営を安定させ、食料自給率の向上を図ることを目的としています。

を行っているところです。

邑久処理区については、山田庄、福元地内の管渠工事を予定しています。

牛窓処理区では、長浜地内の管渠工事を予定しています。

農業集落排水事業

美和・牛文地区は、浄化センター、管渠工事が完了し、供用を開始しています。

尻海地区は、真空ステーション、管渠工事が完了したことから牛窓浄化センターに接続し、供用を開始しました。



米どころの本市にも大きな影響がある新対策

本市においても、国、県、JAなどと連携をとりながら、本対策が円滑に実施できるように農家への説明会を開催するなど制度の周知を図ったところですが、6月末の申請期限に向けて、引き続き事業の周知徹底を進めていきます。

なお、国においては、新しい農政の確立に向けて、戸別所得補償制度の本格実施のほか、農業・農村が生産から加工、販売まで総合的に取り組む「6次産業化」や、食の安全・安心の確保に向けた施策を積極的に展開されることになつていきます。こうした施策の動向についても十分に情報収集を行い、その活用を検討していきます。

特設観光案内事業

本年7月から10月まで、瀬戸内海の島々を会場として開催される「瀬戸内国際芸術祭2010」や、今秋開催の「第25回国民文化祭・おかやま2010」の開催期間に合わせ、「道の駅」黒井山グリーンパーク内へ特設の観光案内所を設置し、観光客へ観光案内や情報提供を積極的に行います。

岡山市、玉野市もこの事業を実施する予定で、瀬戸内海でつながる3市が連携して、新たにオープンする瀬戸内市立美術館のPRなど、相互に観光イベント情報を交換しながら効果的な観光案内事業を展開します。

なお、この事業は、国の重点分野雇用創出事業として、全額国庫交付金で賄われます。

上水道事業

4月29日、上水道管渠に事故があり、長船町土師地内の一部で2時間の断水となり、大変ご迷惑を

公共下水道事業

長船中央処理区については、浄化センター第1期工事の一部完成により、4月から一部地域で供用開始しており、引き続き場内整備工事および汚泥処理設備工事を進めています。

また、本年度施工予定の服部地内の管渠工事についても発注準備



完成した美和・牛文浄化センター